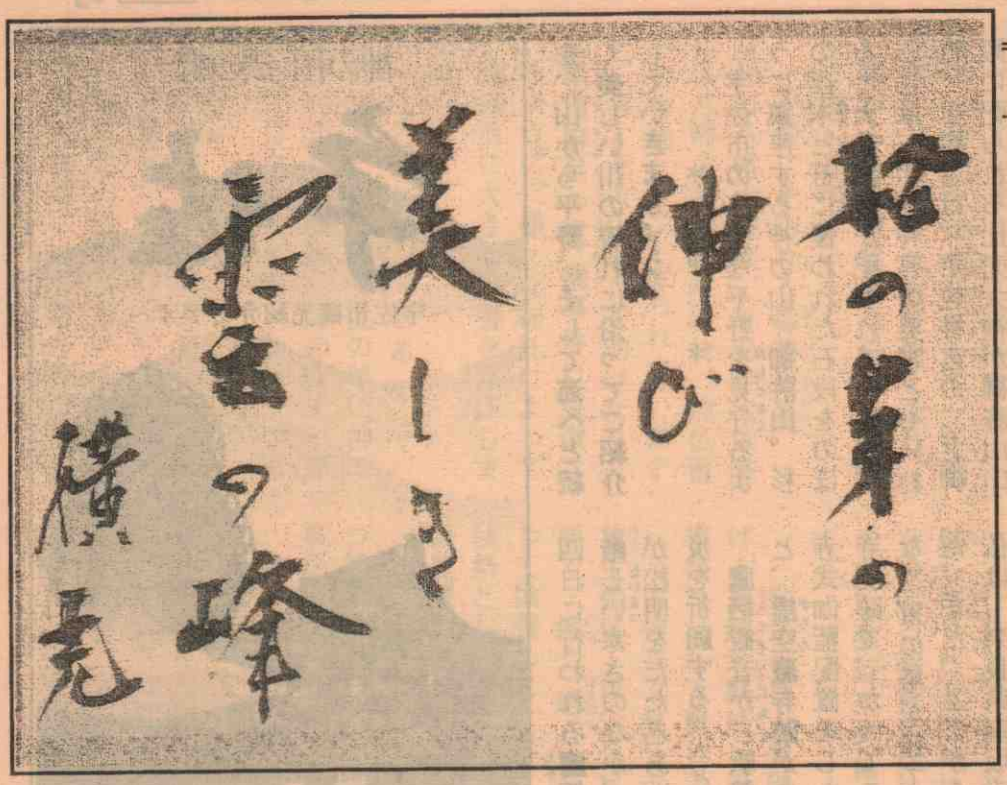
宇佐市民図書館　2001.07

郷土スペース月報

〒879-0453　大分県宇佐市上田1017-1　TEL.0978-33-4600　FAX.0978-33-4679



今月の表紙　横光利一自筆俳句、「松の芽の伸び美しき雲の峰／横光」。33×35cm。1幅。清水基吉氏の函書あり。この句は、昭和16年11月17日発行の『日本読書新聞』(第175号)に「近什片々(1)」の1句として掲載された。掲載紙には「米子にて」の前書きがある。当館所蔵。

目次

◆今月の表紙・横光利一自筆俳句　1
◆「無に徹する詠歎」―横光利一の俳句精神について　1
（横光利一と水原秋桜子の対談より抜粋）
◆宇佐市観光紹介ビデオ「神の国・仏の郷　宇佐」ナレーション完全採録㊤　2
◆新着郷土資料目録・平成十三（二〇〇一）年【6月】　4

「無に徹する詠歎」

―横光利一の俳句精神について

横光利一　私は季節というものは随分妙なものだと思いましたね。外国へ行ってから、どうも日本の春夏秋冬に分けて考える癖に疑問を持ち出したんです。

水原秋桜子　日本の季節ですか。

横光　ええ。

水原　そうすると、どうなってくるんです。

横光　それは心を全く空虚にして了った所へ、何が一番映って来るかと見ること――すなわち春夏秋冬という言葉で言い表し得ない季節というもの、つまり自然の変化ですね。その心を空虚にした所に映る自然の変化、その結果は無に徹する詠歎ですが、それが俳句精神じゃないかという気がふとしたんです。（中略）

けれども私はこの頃色々言われている無季俳句というのは嫌いですね。ただあいうことを言わなければおれなくなったということは非常に面白いと思うんです。私などが若し俳句を作るんでしたら、散文をやっているせいか、無季はやはり嫌いですね。けれども本当に心を空虚にすれば、どうしたって日本人には季というものが入って来るに違いないと思うんです。

（「対談記」昭11・12『俳句研究』）

宇佐市観光紹介ビデオ

神の国・仏の郷 宇佐

ナレーション完全採録(上)

厳かなる神の国、そして、仏の郷、宇佐。緑豊かな山々を背後に従え、駅館川、寄藻川、伊呂波川の流れる宇佐平野は、古くから米どころとしても知られています。そして、雄大な周防灘は、豊かな海の幸をもたらしてきただけでなく、この海を渡る船によって、宇佐が古くは九州太宰府と、大和を結ぶ往来の拠点となり、それが宇佐神宮を中心として栄えた、古代都市のいしずえともなったのです。こうした歴史のなかで育まれてきた文化と伝統。その謎に満ちたいにしえのロマンはいまもなお、人々の夢をかきたてています。

それでは、この宇佐市のすべてを、山から平野、そして海へと続く美しい川の流れに沿ってご紹介していきましょう。

＊　＊　＊

宇佐市の広大な平野を見守るように鎮座する神の山、**御許山**。杉の巨木と苔に覆われた石段をのぼると**大元神社**が祀られています。ここは、宇佐神宮の奥宮ともいわれ、伝説では、宇佐神宮の二之御殿に祀られる比売大神が御許山山頂に天下ったといわれています。

駅館川の上流、断崖のなかにあるのが**鷹栖観音堂**です。背後を岩に、前面を柱で支えた造りは、懸造と呼ばれ、現在のお堂は江戸中期に建立されたものです。毎年一月四日に行われる**鷹栖観音鬼会**は、厳しい寒さのなか、裸の若者たちが松明をたたきあいながら無病息災を祈願する、火と水の祭りです。

鷹栖観音から駅館川を少し下ると、**虚空蔵寺跡**があります。法隆寺式伽藍配置をした七世紀末頃の寺院跡で、かつてこの地には壮麗な三重の塔が建てられていました。また、ここから出土したせん仏は、奈良県壺坂寺のもと同じ型からつくられたもので、古くから宇佐と大和のあいだに深いかかわりがあったことを物語っています。

伊呂波川上流にある**高野堂**。阿形吽形の仁王様に迎えられ、石段をのぼりつめると、小さなお堂があります。仙岩山を中心とした、この周辺の景色は特にすばらしく、耶馬渓英彦山国定公園に指定されています。

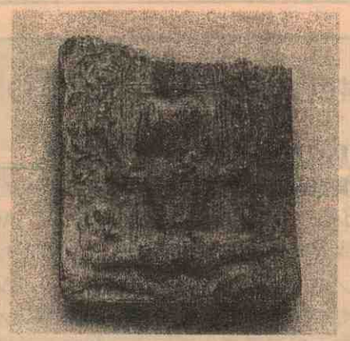
伊呂波川沿いに下った険しい山あいの岩蔭に**天福寺奥の院**があります。ここには数十体の古い仏像が安置されています。この奥の院に伝わる**塑像三尊**は奈良時代の作と推定され、木の芯に藁などを巻き、その上に、粘土や漆喰を塗り重ねたもので、国の重要文化財に指定されています。こうした仏像たちは、時を経ていまもなお、里の人々の暮らしを見守り続けているのです。

宇佐の山々には、かつて、多くの山城が築かれていました。この**光岡城跡**も、戦乱の続く中世末期に存在した山城の跡で、深いお堀と二重に取り囲まれた堅固な土塁がいまも残っています。ここには、郷土出身の作家・**横光利一**の文学碑が、宇佐平野を見下ろすように建てられており、また、毎年秋には**秋光祭**が行われ、歴史や文学などを中心としたイベントが行われています。

＊　＊　＊

宇佐市観光紹介ビデオ
「神の国・仏の郷　宇佐」19分
企画　大分県宇佐市
（英語版、ハングル語版もあります）

鷹栖観音鬼会


虚空蔵寺跡出土のせん仏

天福寺奥の院の塑像

それでは、そろそろ山を下り、平野の方へと行ってみましょう。

宇佐平野の中心となるのは、やはり、**宇佐神宮**。年間二五〇万人の観光客の大半が神宮を訪れるといわれています。四万を数える全国の八幡社の総本社として、伊勢神宮と並び称される歴史を誇り、三殿からなる八幡造りの本殿は国宝に指定されています。

一之殿に祀られる**応神天皇**、すなわち八幡大神は、平安時代以降には八幡大菩薩と呼ばれ、神仏習合の神様として祀られていますが、東大寺大仏建立を助けたり、**和気清麻呂の道鏡事件**に象徴されるように、様々な神託によって中央政治に大きな影響を及ぼしました。

二之殿に祀られるのは、**比売大神**。これは女性の尊い神であり、また、邪馬台国の女王・卑弥呼ではないかともいわれています。

三之殿には、応神天皇の母である**神宮皇后**が祀られています。

八幡文化の殿堂ともいうべき宇佐神宮宝物館には、数多くの重要な文化財がおさめられています。

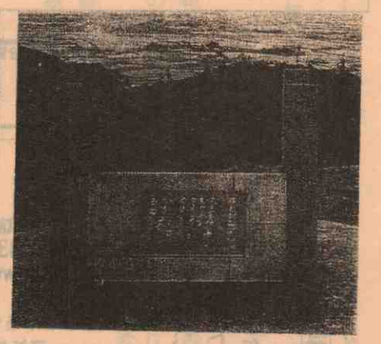
これは鎌倉時代につくられた国宝・**孔雀文磬**。かつて神宮内にあった**弥勒寺**で、お経などを唱えるときの仏具として使われていました。また、古い歴史をもつ宇佐神宮ならではの祭りも数多くあります。二月に催される**鎮役祭**は、御幣越し祭りともいわれ、大きな御幣を投げる神事が行われたあと、雅やかな蘭陵王の舞が奉納されます。

三騎の御輿が戦陣争いを繰り広げる**夏越大祭**は、勇壮な宇佐の喧嘩祭りとして親しまれています。

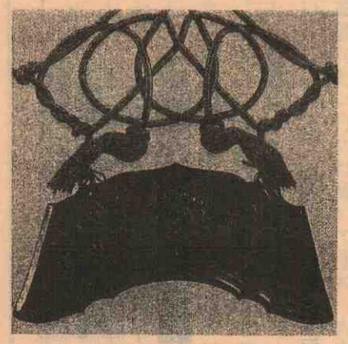
宇佐神宮で最も古い祭礼である**放生会**は、殺生を戒めるための法要で、蜷や蛤などの貝を海に放って供養します。こんにちでは仲秋祭として行われており、秋の五穀豊穣をお祈りします。

ほかにも、三七〇年の伝統を持つ**神能**など、古式ゆかしい伝統行事がいまに続いています。

豊かな穀倉地帯として知られる宇佐平野ですが、丘陵地では温州みかんやネーブル、巨峰を中心としたブドウの栽培も盛んに行われています。シーズンには大勢の人たちがブドウ狩りを楽しんでいます。


光岡城跡の横光利一文学碑

夏越大祭


国宝の孔雀文磬

新着郷土資料目録　平成13（2001）年　【6月】

書名／人名／出版社／出版年／請求記号／（備考）

平成12年度（第13回）野上弥生子賞読書感想文コンクール／大分県立図書館／2001.2／A019オ（寄贈）
サッカーがおもしろくなるBOOKSガイド／大分県立図書館／2001.2／A020オ／（寄贈）
大分県文化年鑑2000／大分県芸術文化振興会議／2001.3／A059オ／（寄贈）
大分県立歴史博物館　総合案内／大分県立歴史博物館／2000.7／A069オ／（寄贈）
久留島武彦　資料集　第1巻／大分県立先哲史料館／大分県教育委員会／2001.3／A080オ／（寄贈）
いのちの御物語／藤谷知道／真宗大谷派響流山勝福寺／2000.9／A180フ／（寄贈）
荒田遺跡／臼杵市教育委員会／2001.4／A200.2ウ／（寄贈）
臼杵石仏群地域遺跡／臼杵市教育委員会／1999.3／A200.2ウ／（寄贈）
国宝臼杵磨崖仏保存修理工事報告書　図版篇／臼杵市教育委員会／1997.3／A200.2ウ／（寄贈）
国宝臼杵磨崖仏保存修理工事報告書　本文篇／臼杵市教育委員会／1997.3／A200.2ウ／（寄贈）
下中尾遺跡／臼杵市教育委員会／1996.3／A200.2ウ／（寄贈）
田篠台遺跡Ⅱ／臼杵市教育委員会／1994.8／A200.2ウ／（寄贈）
玖珠町史　上巻　自然～近世／玖珠町史編纂委員会／玖珠町教育委員会／2001.3／A272ク／（寄贈）
玖珠町史　中巻　近現代～現況／玖珠町史編纂委員会／玖珠町教育委員会／2001.3／A272ク／（寄贈）
玖珠町史　上巻　宗教・文化財～特論／玖珠町史編纂委員会／玖珠町教育委員会／2001.3／A272ク／（寄贈）
木下郁／木下郁編纂委員会／1971.10／A289キ／（寄贈）
ぼくらの大分県／藤原正教／ポプラ社／1976.2／A290フ／（寄贈）
平成13年3月　第1回宇佐市議会定例会会議録／宇佐市議会／2001.3／A314.5ウ／（寄贈）
アジアの世紀　環境の世紀／平松守彦／2001.4／A318ヒ／（寄贈）
国土利用計画（宇佐市計画）平成4年2月／宇佐市／1992.2／A318.14ウ／（寄贈・複本）
大分県の青年団運動／大分県青年団運動史編纂委員会／1997.6／A379.2オ／（寄贈）
よみがえれ豊っ子家族／家庭と青少年の問題を考える県民の会／大分合同新聞社／2001.6／A379.9カ／（購入）
日本の戦艦・下／泉江三／グランプリ出版／2001.5／A550イ／（購入）
一村一品20年の記録／大分県一村一品21推進協議会／2001.3／A601オ／（寄贈）
透明な滲み／河北秀也／ビジネス社／1997.12／A748カ／（寄贈・複本）
一本筆土俵入り／遠藤佳三／丘書房／1997.6／A788コ／（寄贈）
はなしの土俵／小島貞二／ベースボール・マガジン社／1995.7／A788コ／（寄贈）
あるフンドシかつぎ一代記／小島貞二／ベースボール・マガジン社／1991.1／A788コ（寄贈）
航跡30／徳永純二／「航跡」グループ／2001.6／A905／（寄贈）
塔／末弘喜久／集英社／2001.1／A913.6ス／（購入）
凡々の記／副愛彦／2001.6／A916ソ／（寄贈）
知事十六年〔普及版〕／木下郁／1973.7／A916キ／（寄贈）

俳句募集

～地域特産品や図書券など～
賞品・賞状がもらえる！

●選者　清水基吉氏
倉田紘文氏

●部門①小中学生の部
②一般の部（高校生以上）

第3回大分県民芸術文化祭参加（協賛）行事

「第3回・横光利一俳句大会」

●応募方法　はがき、FAX、インターネットで
（部門の別・作品・住所・氏名・年齢・電話番号をお忘れなく。）

●締切　9月14日（金）必着

●発表　10月15日（入選者にのみ）

●宛先
〒879-0453　大分県宇佐市上田 1017-1
宇佐市民図書館「第3回・横光利一俳句大会」係
TEL 0978-33-4600　FAX 0978-33-4679
http://www.oec-net.or.jp/~usa-city/

※おひとり5句まで応募できます（できるだけ、まとめて一通にお願いします）。

古文書を読む会　【近世文書】　8月14日（火）　14:00～15:30　2F　研修室